

# 査読の観点と 査読コメント対応のノウハウ

2015年9月1日

岡山大学 笠井俊信

(学会誌編集委員会 幹事)

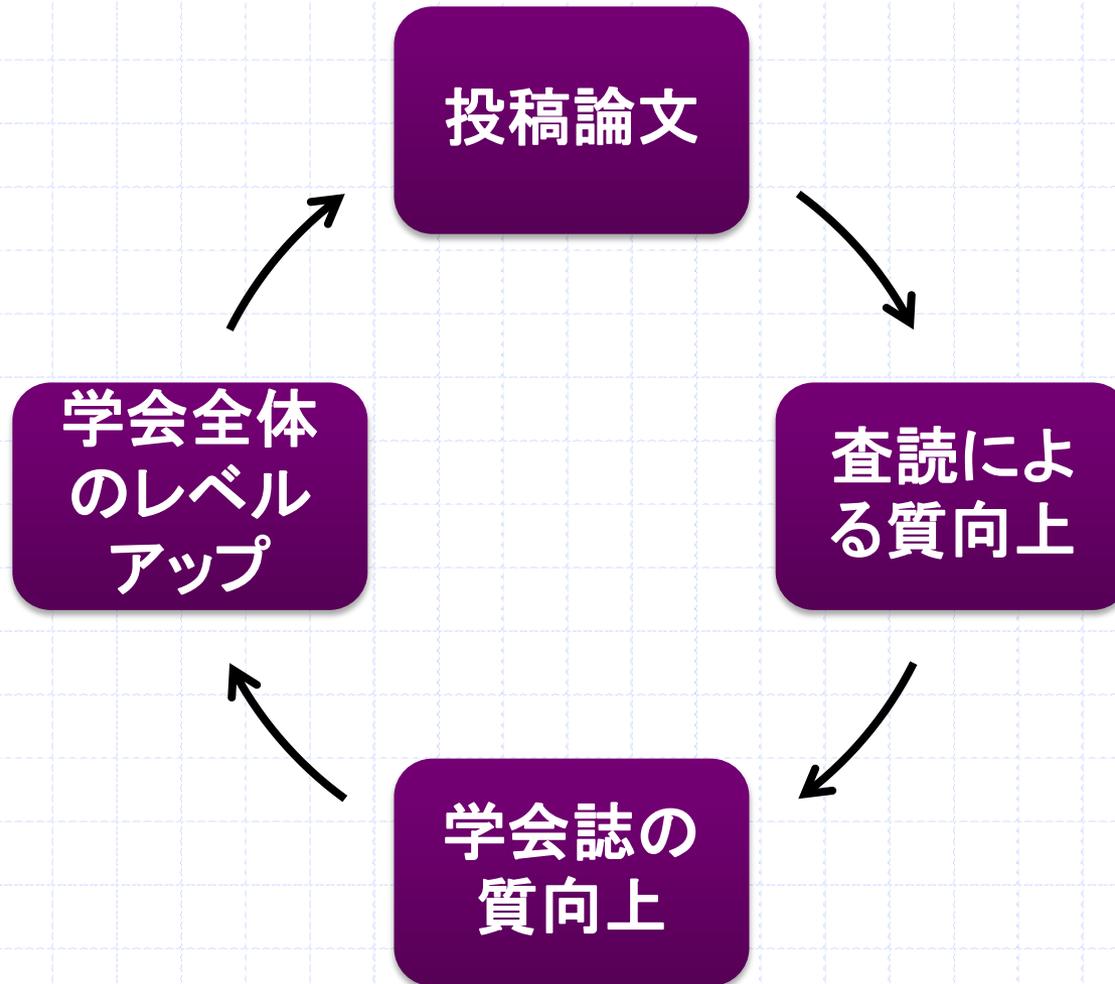
# 概要

- ◆ 査読の目的
  - ◆ 査読の過程
  - ◆ 査読の観点
  - ◆ 査読コメント対応のノウハウ
  - ◆ 査読者の方へ
- 
- ◆ 全国大会，研究会の活用

# 査読の目的

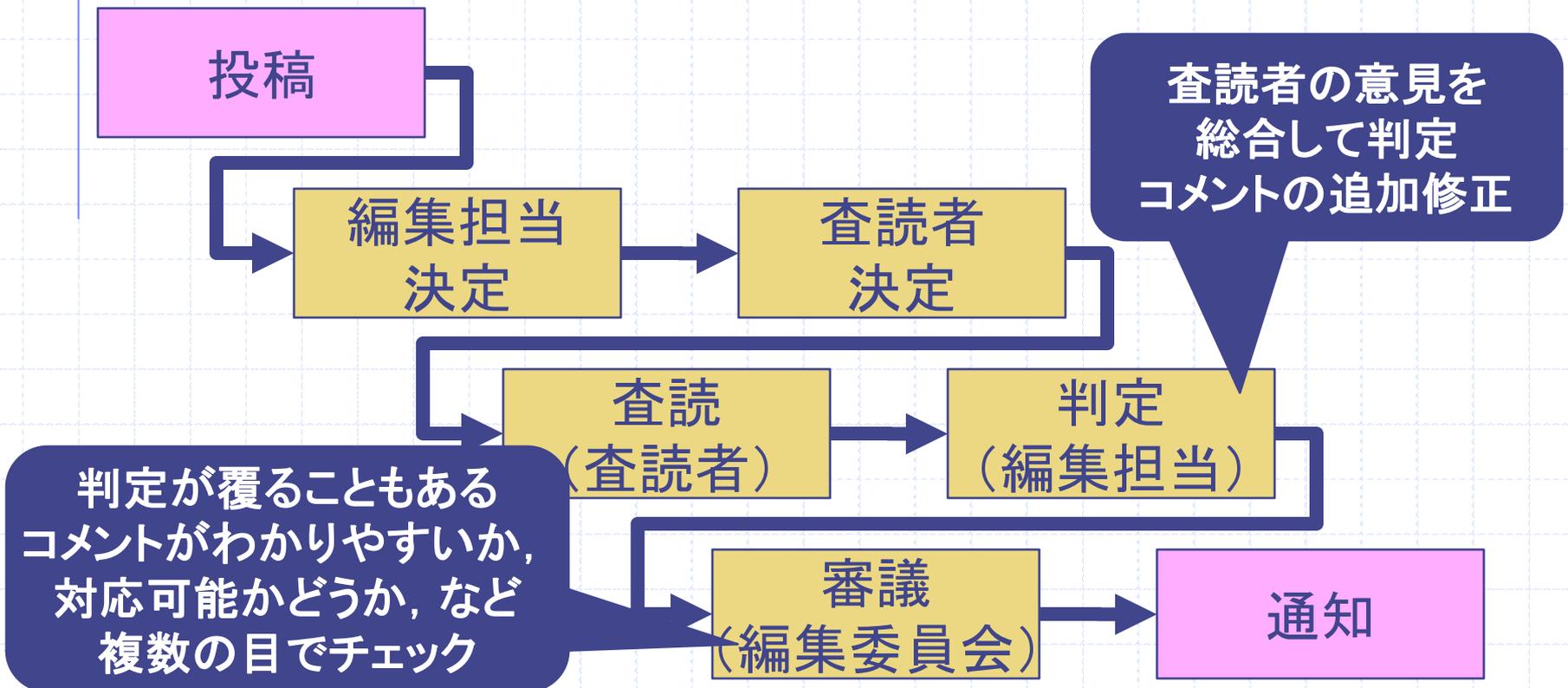
- ◆ 論文を落とすことではない
- ◆ 論文を改善すること
- ◆ 教育システム情報学分野において、学会の目指すレベルの論文であることの認定
  - そのようなレベルに到達するために、学会として著者と協調し、支援する

# 査読の目的



# 査読の過程

◆ものすごく手間をかけてます

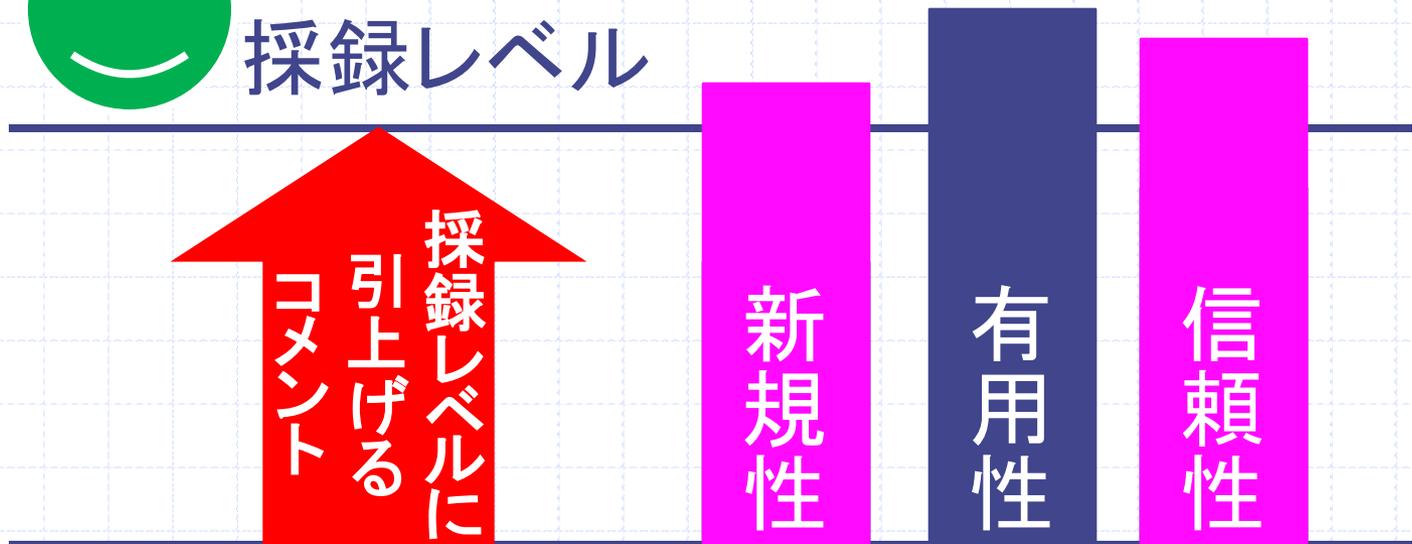


# 査読の観点

◆ ギャップ = 要改善点の見極め!!



採録レベル

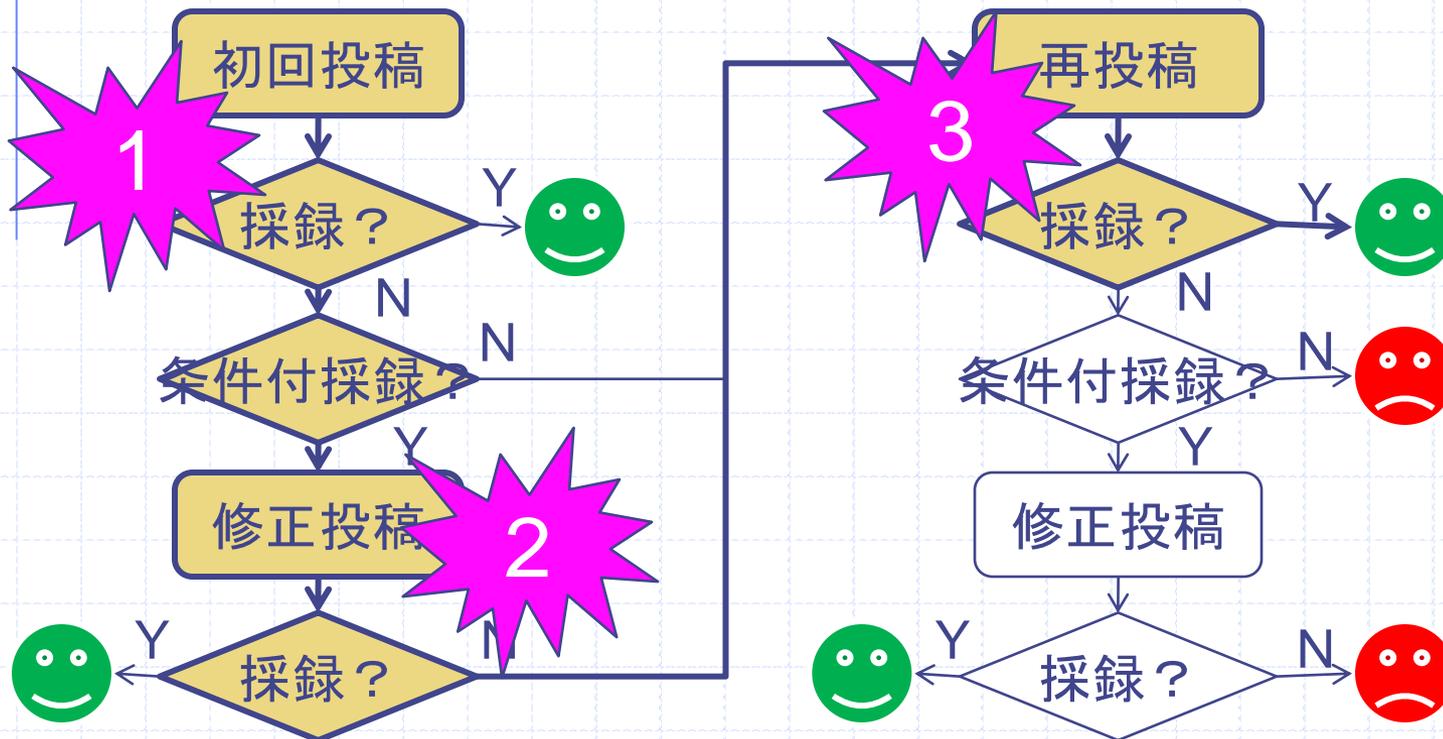


# 査読の観点

- ◆ 採否の判断: 修正のチャンスは一回!!
  - 一回の修正でギャップが埋められるか??
    - ◆ 論点の見直し, 再実験の要否, 書き直しの質・量, など
  - 埋められないとしたら
    - ◆ 種別変更⇒まずはコアの部分を発表してもらう
    - ◆ 返戻・再投稿⇒条件付き採録は修正期間が限定. 返戻なら無期限
- ◆ 条件付き採録, 返戻いずれの場合でも, 採録となるための改善指針が査読コメント⇒ 査読コメントは大事にしてください

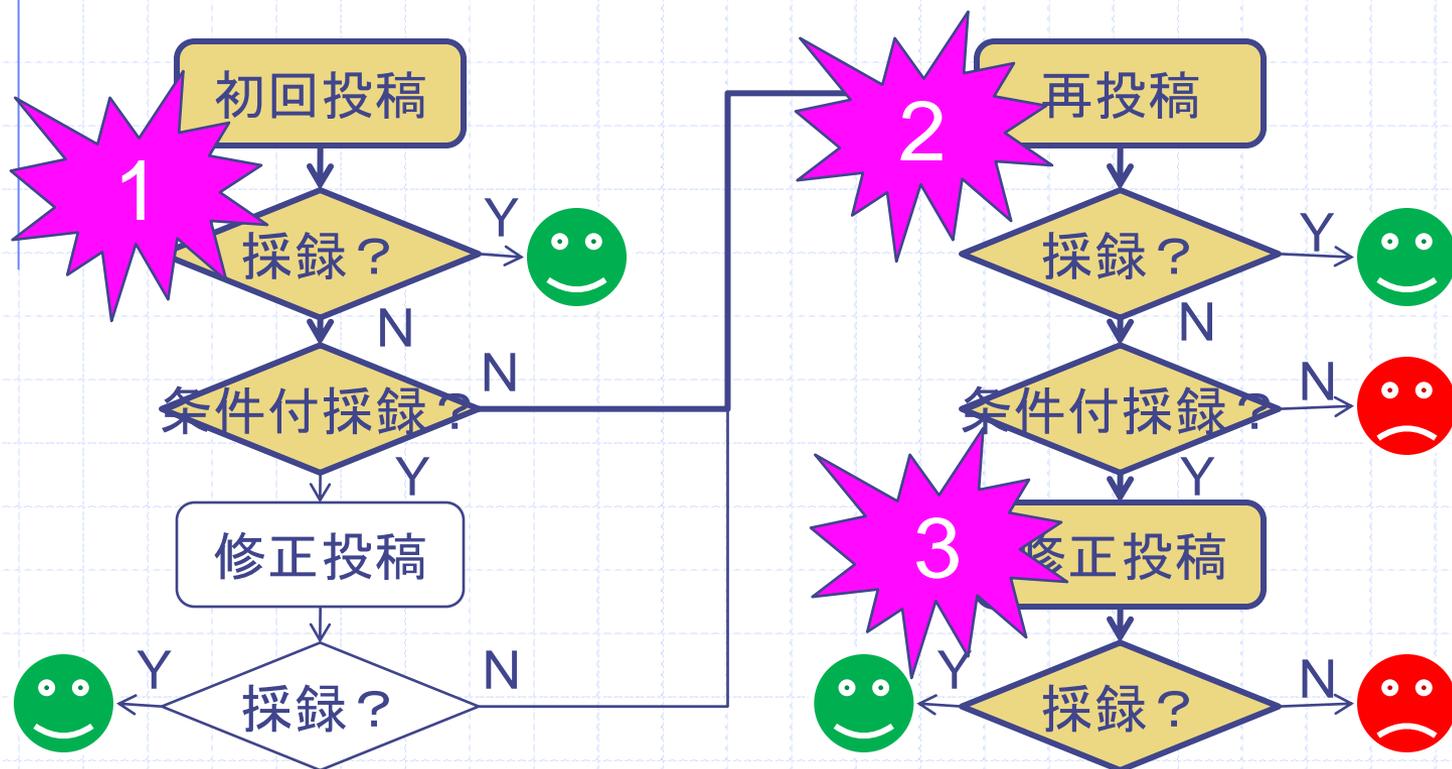
# 査読のプロセス

◆ 3回以内で採録に到達しよう!!



# 査読のプロセス：最近はこちらが多い

◆一回でギャップが埋められるかを見ている



# コメントの典型的パターン

## ◆論文の構成

- 問題提起→解決方針→実験・実証→考察

## ◆パターン

- 論旨不明⇒新規性・有用性が判断不能
- 新規性不足・不明
- 有用性不足・不明
- 信頼性不足・不明

# 論旨不明

⇒新規性・有用性が判断不能

## ◆論文の構成

■ 問題提起 → 解決方針 → 実験・実証 → 考察

◆ そもそも問題が提起されていない!!

◆ 提起されている問題が不明確

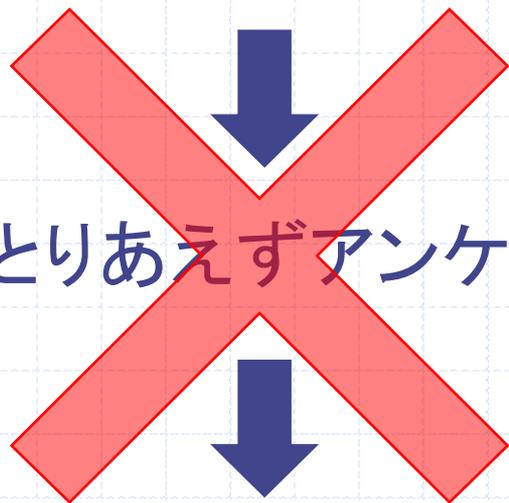
◆ 提起されている問題と、解決方針、実験・実証、考察の内容が食い違っている

◆ 提起されている問題、解決方針、実験・実証、考察のいずれかの間に論理的飛躍がある

# 研究の進め方・主張の仕方

## ありがちなパターン VS 正しいパターン

◆ とりあえず教育実践



◆ とりあえずアンケート

◆ 最後に研究課題(仮説)をムリヤリ設定

◆ まず研究課題(仮説)を設定

◆ 仮説からアンケート(評価項目)設計

◆ 最後に教育実践

# 新規性不明・不足

## ◆ 論文の構成

■ 問題提起 → 解決方針 → 実験・実証 → 考察

◆ 提起されている問題の技術的課題が不明

◆ 提起されている問題が容易に解決できる

◆ 位置付け(先行研究との対比)がなされていない

◆ 解決方針が既知である

# 有用性不明・不足

## ◆ 論文の構成

■ 問題提起 → 解決方針 → 実験・実証 → 考察

◆ 提起されている問題の教育的課題が不明

◆ 提起されている問題が容易に解決できる

◆ 位置付け(先行研究との対比)がなされていない

◆ 解決方針が既知である

# 信頼性不明・不足

## ◆論文の構成

- 問題提起 → 解決方針 → 実験・実証 → 考察

## ◆解決方針の内容が不明，説明不足

## ◆解決方針の効果が実験・実証で示されていない

- データ不足，実験方法誤り，論理矛盾，など

# 査読コメント対応のノウハウ

◆ 大前提:「採録条件」はすべて満たすこと!!

◆ お作法

- 条件付き採録時には「修正論文」と「回答文」を提出
- **回答文が重要!!**

◆ 返戻再投稿の際も準拠するとよい

- 著者のスタンスや考えを委員会に伝える重要なコミュニケーションチャネル

# 回答文の書き方

## ◆ 以下の繰り返し

- 査読指摘コメント
- 対応方針: **必須!!**
  - ◆ **どういう考え方で対応したかを明示**
- 具体的修正内容
  - ◆ 修正箇所
  - ◆ 修正前文言
  - ◆ 修正後文言
  - ◆ 修正論文でも赤字などで修正箇所を明示

# 回答文の例(1)

## ◆コメント

- 本論文は... という内容にとどまっています。目的を達するための技術的な課題を明確にしてください。

## ◆対応方針

- 本論文の技術課題を三つに整理しました。それを1章に示すとともに、2章でそれぞれの詳しい説明を行うようにしました。

# 回答文の例(2)

## ◆ コメント

- 文献[X]と本論文の差異が不明です. 解決しようとする課題は同じであると考えられますので, 本論文の優位性を説明してください.

## ◆ 対応方針

- 先行研究の説明が不足していました. 文献[X]では, YY手法を用いているため, ZZが起きやすいという問題があります. 本論文で新たに提案する手法では, xxによってこの問題を回避しています. この点が明確ではありませんでしたので, 1章に説明を補足しました.

# 回答文の例(3)

## 査読に反論しても良い!!

### ◆ コメント

- 実験結果の検定の方法に誤りがあるのではないかと思います。文献[x]などを参考に検定をやり直してください。

### ◆ 対応方針

- 投稿論文で説明が不足しておりました。本研究の実験の条件では、今回適用した検定方法が妥当であることが文献[Y]に示されています。誤解を招く記述でしたので、この検定方法を適用した理由を補足いたしました。

# 査読コメント対応のノウハウ

- ◆ 査読者のコメントがあいまいだったり、誤解していると思えたら遠慮なく指摘してください
  - あいまいなコメントの例
    - ◆ 「先行研究ではシステムの操作に特別な技能が必要であった」と指摘していますが、それは本研究でも同様です。  
→それで??
    - ◆ 従って、この点に関しては新規性は認められません
    - ◆ 従って、操作に必要な技能がより簡易なものであることを説明して下さい
- ◆ 再投稿前に、査読内容に対して質問することもできます

# 査読者の方へお願い

## ◆ 査読の観点・文脈を示せ

- 新規性がありません→先行研究を示す
- 新規性が不明です→新規性以前にそもそも問題提起が不明なのは？
- 新規性が読み取れません？
  - ◆ 新規性が無いと言いたいのか, 新規性はあるが書き方が悪いと言いたいのか
  - ◆ 観点を示す:「XXが新規性と思われませんが・・・」

# 査読者の方へお願い

◆ 重箱の隅をつつくな!!

◆ 良いところと悪いところを明示!!

- 甘い査読をしろ, というわけではない!!

# 全国大会・研究会の活用

- ◆ 全国大会，研究会に発表する意義
  - 研究の認知度向上
  - コメントのフィードバック
  - 積極的にチャンスを作りましょう!!

# 全国大会・研究会の活用

## ◆ 特集論文研究会

- 編集委員会と研究会委員会のジョイント企画
- ほぼ年1回実施
  - ◆ 例年, 3月研究会→5月特集号締め切り
- 研究会で2名のコメンテータからコメント
  - ◆ 論文化するとしたら, という観点のコメント
  - ◆ 採録条件ではない
  - ◆ 投稿論文査読時に, 研究会コメンテータが論文担当・査読者になるよう極力配慮
- 採録になる割合は通常より高い傾向にある